ながいつくあると解へられる

局と彼らの世間及攻作所計

しかしすでに隣のビルマ郷间の

企闘がわが日生の侵すべからざる

任歸督總磯小

小の政権は土田日と、相とそれらし、一回、その他の協物、更するに至った誰だであらう、四、関係等半局の高温速度を方面に対い、の場所では土田日と、相とそれらし、回、その他の協物、更するに至った誰だであらう、四、関係等半局の高温速度の方面に対い、

に小阪線将の朝鮮統理に到する新

| 一般成勢打合のため| 職態了後の際上におて、10mの総数|| 郵売塗塗上におけるの様に対して、運じ場外の空地の脚に中央原路との「竹相以下の各機像とは同す」日散、ことであるが、このとは大田地蔵、夢春を観閲し張しく幸郎興生に発明地に東大田地蔵、夢春を観閲し張しく幸郎興生に発明が明して、10mのでは、10mの

多大なり、寧日なき日程の收穫

江南、緬甸の大戰果

今次江南作戦に於て地上部隊に協力中なる支那方面帝

69六月五日までに敵飛行機に與へたる損害次の如し|、緬甸方面帝國陸軍航空部隊は別續き東部即度に 對する進攻作戦實施中にして五月一日|

撃墜六十二機、地上に於て曖破または炎上四十機、

同期間に 於ける我方の損害 白爆ま

には未だ闘選せざるもの九

銘記せよ、正義の

笑止、敵聯合反攻の

陸

寫、米英蔣聯合空軍に大鐵槌

け僻面の地に除間を保つに過ぎたと化し、いまや民間わが銃銃を

他第一十三日T一是《太明』即 社報日被京社会所行 业本等系入行数末期 館文同

山東省方面

部等よび第日十四回に對しわが15 は下急線域區司令部第五十一点を 被刑力領域を領へたり は下急線域區司令部第五十二次 被刑力領域を領へたり 山東省方面 可近行中に一部の経済を領へ、 加東省方面 可近行中に一部の経済を領へ、

日午後五時級該=ラウレル接官の

に恢復しつくあり、

設刊

獨

イムス出版

三社

地を連爆

【プニノスアイレス七日同盟】 ド島の損害 ト・ラン

日ラウレル内弥都長官の遊離に對

思知な見郷電報を残したが、

小型小型 小海上木田

四一•八〇卷一五

個一十八分五

大路署順·八〇後二二

單

TO HIT

解 曲

ち四機を要失した部パ日鞭表しきの選醒をうけ、鼠烈な窓中版のの 國海事省は 米奈坦の 爆撃機隊 空において有力な日本領版医機能 らびに低解機隊が五日ショート

統制會

日政路線

東京の一番のでは、一番の

晋坂 卿一著 一

MI-HOMIN

何・八〇巻一五 图1-110经1五

「アスポン六日同盟」BBO放送によれば六日日本航空経験は大聚器山や爆撃。さらに正年頃一部は重度上空に現れたため

重慶附近一帶は大混亂

兩湖等

は五日午前七時頃マニラ市ワクワ 粉部長官ホセ・ピー・ラウレル氏 ニラ八日同盟】比陽行政所の

山一陸赤

时村昭宗

順木置命

の限天陰に潮を指してゐたが快期

廿數機を撃墜、炎上

一般には定義が競技が残争されたが明確は投下されなかったと何へられる

傷した、生命には別様なくジェネ 容態は良好

兇漢に数銃をもつて狙撃されて

一件を追加

南洋建設講座

刊近

经科查留 八拾錢 國 五 拾錢 國 五 拾錢

Ų,

房

**

掘勢東京人八四〇六番

は室の巨篇!

國民的綜合講座成る大南方圏建設の

記数比例の各省 の関係の 指される 指される

【マニラ八日同盟】比島行政府八一好である 臨時議會後に選任

內閣各省委員任期延長

四日の開催において七法律条型 を決定し、そのうち國民更生命

【東京電話】第八十二隔時隔音

物類はの任用を紹分の問題長し臨る。こ って仮加を割了する内閣および名一役低は治療後選任する見込みでお って『内閣委員および各省委員の る四日の閣議において右に伊ふ敷に認典後に銀行することくし、去 東第語】欧暦京六月九日をも | もってその任期を割了する所その 郷海に関する敷令に基さそのまま た内閣委員および各名委員の職務

案』を聴動に提出することとない

省委員の職務繼續

ア

7

ンと

職物組織に国する中国の動令が公

職を命申さしめ之で漢降、小職にしよび各省委員の大部分は今九日を一

これに嗣し無俗昭新員司政局長はないになった。 八日左の妙き談話を破裂、官民間

新貝司政局長談發表 東原、四大門底、龍川原及び永二東原、四大門底、第六門底、第六門底、龍川原及び永二

學高點產業成鍊科學

冠 斯

して我手に

*

合

格

杏

R

生产語

解の異文

報口直太郎

李生 時 事 解 脱 一事 が で の 発 とはどんなものか (裏を) … 単 動詞 の 辞 制 に 就 て (景野) … 単 成 の 発 既 (国忠) … 中 本 方 る 範 国 一 所 来 の か (裏を) … 中 本 方 る 範 国 一 所 本 で の か (裏を) … 中 本 方 で の か (裏を) … 中 本 方 で の か (裏を) … 中 本 方 で の で (国幣) … 中 本 方 で の か (裏を) … で (国幣) … 中 本 方 で の か (裏を) … 中 本 方 で (国幣) に (国幣) に



京城府區制

らう、從つてこれに関してに合後、り賜盛宗令欧正常の手順も添了、一つ難力に擽しばめられることには、改慶闕の波徹を節行することにない改慶闕の波徹を節行することになりまり、原に別化するため行り、東京の東京を 一段に別化するため行りません 夢 弾きゅうにしまし 事務、國民総力運動を決取下達急には包民派反の役所、國家法職は 一めるやう要覆した

設定路に全職を命中せしめこれ。て真部同族相應むの無用の抗威を一揆上申し上げ登録者お言葉を押し

際代謝哲が東上の際会開館と個一

國民の山本精神を實践に移合す ためにはがくの如くして明確な の資務は同時に行ひ得るもので がある。しかし、これらの國民 る目標を扱示しこの目標下に統 はない。せつかく昂揚し來つた

更に國民のなすべき協力のなし 方は、動勢に、消費の規正に、 吸されておる。時間、同念と、

る。法人の概念が少い理由は役 既定が最近でのあとを終ってあ ある。殊に個人ならざる法人の して小口献金が増加する傾前が のあとを見るに大口献金が液域 いふべきであるが、最近の戦金

なことに 力強き國民の 弥滅と 増し月を添って激増しつくある

知れない程大さい意味を持つもの 識されるに至つなことは流し削り 監証の次に我々の提配したいの

最もやり別き飲金であるといる

姿を示すものとしてまことにカ

よって自ら一つの限度があり、 人の能力によって、また職場に

物はそれでよいとしても、この

深ない。

に決取に関われ然たる日本の

が期せずして昂揚されつくある だ一位態度起の影響たる機運 の間上に続け、の合日度と

形を通じて欧現合れるのでなけ

でいったとと矢級を見やに図 明これ既れるのみである。既にいびかけても、國民はたと

付にはいかない。細力敵関など酸的な質異も弱への外に置くわ

郷の明留である。まつ國民のや いてそれをな合しめるとこそ指

心は、また取力 対照への概然な

る熱量が何等かの事象を領じて

我命これ敗れるのみである。

所謂國民語力測励が今日や入財

ればならない。今日かくるこに

つでなければならない

岩を甘んじて國民は概括しなけ 次た精神的にます! なるが故に國民色物は物的に、

道に疑り來ったことは否むわけ のまで用弦深くなされて居り 盛への密眼は可成り具態的なも の民衆指導の銃隊をみてもこの

の不可不満なきが故に、凡ての

が趾も入り易き國家への協力の

さういふ意味において、図民

方法は何といっても貯蓄でなけ

膜信してはならない。世の指導 部力奨励が順個に進んであると 一人もゐないと信ずるが、國民

今日三尺の第子と雖らこれを知

ればならない。貯蓄の重要性は

說社

總力運動實踐の鍵

の日を差り続け日間の翻京日数も一翻悪は窓々内総一覧を緊管にし具

なほ知言を喉ゼしめる程であった

職権の斯うした郷先陣頭指揮に

圓滑運營を期せ

官民協力を望む



本年全國高導入學競争率 一志 望 校 選 择 の 基 単 一志 望 校 選 择 の 基 単 一 表 単 上 と 生 活

地 田 幸

大弐和文英譯答案の講評 田 重 増 増 の (東文) ………… 今 東 忠 義 加 (東文) ………… 今 東 忠 義 か (東文) ………… 小笠原 峻 増 形 (東大) ……… 小笠原 峻 増 甲 部 隊 に 放 て

| 高線 : 小今

郷報所はじめ内地および熊瀬各開郷離するが具儒案を練つた上近く 貿易無限費を開催、松永總督の 十一日午後三時から同音會議

*研究社 行發

本社 黄切 特質 三十五銭

香〇四二京東蓉景

に入るや野原形の就置を整御して「る爵日徽成抗の如きは金く白鷺野とで行いる時間の対照を見、五月、る打機は投入として破側の呼吸すって著した最近の頻照を見、五月、る打機は投入として破側の呼吸すいた。 り、特に今次十八際太行作服の解

表された、これによると江南地區

報によれば関脳政権は今年多にお一

のワシントン 育談に出席した頂歐

期待す、統理の

り今次江南なら一郷迫の危機に概された、さきに郷

風吹く町事的にも財政的にも

廿四集團節女長屬朝動、今张一第

度敵の企園を未然に般略したので

関係たる再度をもつて破路し去れ

中國に若鷲 敵據點完膚なし 日间間】東龍県衛龍愈日 第一同卒業式中央卒軍學校

卒業生の飛行流圏が盛次に荷はれ 午後五時意識深い式を終了した 「長門示(頭に制作將代詞)の後

地などを開催して顕光英語図合国。 地などを開催して顕光英語図合国。 散行場ならびに光英学館の主要議。 ではないでは、東京学館の主要議。 では、東京学館の主要議。 では、東京学館の主要法。 では、東京学館の主要法。 では、東京学館の主要法。 では、東京学館の主要法。 では、東京学館の主要法。 では、東京学館の主要法。 では、東京学館の主要法。 では、東京学館の主要法。 では、東京学館のでは、東京学館をは、東京学館のでは、東京学院のでは、東京学のでは、東京学のでは、東京学院のでは、東京学院のでは、東京学のでは、東京学院のでは、東京学院のでは、東京学院のでは、東京学のでは、東京学院のでは、東のでは、東京学院のでは、東京学院のでは、東京学院のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東のでは、東のはのはのはのはのはでは、東のはのはのはのはのはのはの

頻短なるゲリラ的宗軍は遺職、あ反攻を企闘して來たが、この敵の

面の各地上作戦に協力して勇猛県

は微が含意のアラカン作成の敗版

叉ビルマ印織関場方面において

に無磁して是が非でも南亜側にと

発弱九氏の卒党派[[[対詞]、圧信要

練が見事費を結んで、今日からは



四〇型前國聯市數様に対して聖武 四〇型前國聯市數様に対して聖武 の 難を浴びせてこれを後上せしめた を加へ会観を拠上せしる、

三日間の短期議会たるの度情に が職の利便に供すること

溜 豬腐殖 鄭 孝田池 の顕弦事項は、同四北部祭祀」の同名間を抄記して、日本記の記して、日本記の記して、日本記の記して、日本記の記行時に、日本記の記行時に、日本記の記行時に、日本記して、日本記して、日本記して、日本記して、日本記 支

行

外し得ない事り返し來つた

下三四 B - 一四 6 - 〇〇 頁判 文博

爾レ決戦への決意を新たにする等一く見聞することによって得るとこ と共に劉賁姫祚。宜献の大器を築一る内地の諸事情を二句に言り思した。 を聞いて難議府東京革勢所負一同一成下決獄も新之に記ら上りつくお、お問歌歌目に答っては出途の寸階一であるが、同時に極致としても決 く瞬間まで文部通り歌日なき多位一層々相像つて暗圧後の小橋高帯の

カー致し匿派の国際なる過数に努

邊境に割し興味以上の物を置す。これものでその地方の風土、經濟、

陸鷲大擧して深山を爆襲

一陸軍省檢閱濟一 上海電送

掘垣たる慰願を一勝、飛行場こ会 の外諸即を態度、湖北省の敵國衛

から實施

一館で
耶削粉
雅を行ふことに
決

けるインデアンの不規模デスの高原に深く秘めらゾン河が形成する地球の

古代 1 7

力 〒二三B --□6 五〇頁判

町本・橋本日・京泉

情報局發表 内侧委員和

* ムア / イウ * ンァヴガクマ 関 央 韶 彫 株 な原始生活を紹介した興味ある一れた古代インカ帝國の頭称を採り

躍進

部々用称を終へて届任する途に指

共 次信島前 著 男類田寺

行後 館

中央ア ジアの 過去と

(=)

11

爆決意

親驚

宮丸峡島は琉藤の娥機に合図をすしく窓に基地に引送さればならな。図を投下し無承に召丸峡長の手にに減づたガラダンの流れが異れた。へ窓められず十度分間の捜索も各「虫塊上部峡の旅線に報を貸いた地」

株式市況(新

題

くなった、角田一郎機(似合市)が

るとともにカラダン河上流二百廿

**しめる
意果を駆けたが、この日屋** 南方約百キロ)を攻撃、在地廠大印度ドハデリ飛行場(チツタコン 職隊を撤襲しつく政地上学に遡入 4月二日わが戦場域合の大瀬隊 いて一選別して開戦に戦略、他の個所はドバデリから吹し南下したてスピードが落ちたところをつい、様子である、しかし飛郷してある 會の協力機關としてこのほど朝賦 石炭、特殊質、恋金膨、電力、化 經濟思認會朝鮮委員會では、一春劇の共阪を行ひ今年、春蘭賈任

十一部を設けて發足

近距離から敵操縦岩を狙って一連 同競會式には内地から丼野前機相 科館を盛大に開催するこに決定
政権式を兼ね殴業、第二業両分 のもとに目下の解と音響は影外されてゐるが、朝鮮としては獨自の方法で本制更を實施する方針のもとに目下の解と音響は影外されてゐるが、朝鮮としては獨自の方法で本制更を實施する方針 ひとする内國総数集中決勝制度はいよいよ七月一日より変施する王に決定した、この制度の選 内國危容業務を開易化して、人的、物的資源の節約を聞ると共に、資金の効率的發揮を其組

一部門別斯門委員

しては人家総物総計二千八百丈の を期する、なほ供出促進の一方策

かず「頑張れるところまで頑張る」 れるのを無碍に退けるわけにも行

と返電して後は選を天に翌せて

計法による保験勘定及び年金勘定

決定した、これによれば右特別書

困難な飛行をつがけた一の積立金は钢鉄総督の管理に駆し

として供出者中成績優秀な者に對 供出頭十七萬一千萬の完隆に萬金

どうすべきかと暫し迷つたが、目

通過成立した朝鮮貿易生命保険及

【東京電話】政府は八日の定例樹一原則として外國既をもつて保存す

るかまたは大阪省資金部に頂け入

積立金運用規則決定

図する、宮丸隊長は果して自分は

手をふって進め進めとしきりに合 て無昭で『頑張って下さい、頑張 と除長機すれくに左右に接近

特別配給を行ふ

為替集中決濟制度

朝鮮は獨自の立場で運營實施

春繭共販始まる この融別的な爲替集中決震制度 | てゐた煩難な手續きを簡進化し、

本支店(朝鮮においては熊蝎)の

第三條 明鮮適登は地下の官吏に の 中 積立金の出帯を携行をしめるる。 等個権。 保険制度が年金制定の 物 を得ること とを得ること を得ること を得ること を得ること とを得ること を得ること を必要の出帯で限する手蔵は期 を確し金の出帯で限する手蔵は期 性級管大球大戸を制定の

落しはじめた、この時宮丸機のエ ら油を噴出、忽ち黑魔を吐き操

突然大きな

電を立てる

を皮切りに京畿道では來る七月五 來る十二日の安城地の歐南の共取

と見るや機能は大きく振動しはじ

低か多数知名士が臨席することに

では、爲智崇務を取扱ふ各行、各

全銀行間一爲替上人負借八

も時とともにいより、勝しくなっ一日まで三洲間にわたり道内各所郡一度を設定して島際勘定書を取交し一 院が傷別的に危勢上の協権(危勢) 落準に頻繁し、日優の口座を通じ院が傷別的に危勢上の協権(危勢) 落準に頻繁し、日優の口座を通じ

爲替内訳書 返却が19ル周替内訳書 支持報告・核発・42 取扱店 為替業勢可取扱了各行各店舗 各店舖相互間,爲替取引

[決済店] 集中決濟· (東京主業外取扱店

られるものと期待される 全を期するやう技術的研究がなさ に對しても敗闘突撃、自ら時職を

るので、内地の姓く歌劇とは運動 断銀その他鮮内銀行内地支店の開

地銀行の支店と地場銀行の関係

軍服 夢を確立すべく 着々 政 佛中の 民態常會を開催、一億熟火の想進 【東京電話】大政政遊會では第八

ので、來る七月十四日から四日間

一日までに各の議員より右の主旨 を達成せんとするもので、來る二 本制度を朝鮮に近施する場合、

馬曾內訳書=97 是第7時初447 爲曾金請求書

一般が危機の國家管理をいよく

宮計を有することになって被管所 して食糧自治療制を確立すべく朝 行することにある、未だこの國家 があつたが、朝鮮食極管理特別密 留計となつ太子留計、二特別會計 年期鮮簡易保険及び乳頭年金特別

政府は四日の閣議において第八十一均適はさきに内地米について四月一政府はこれに関する法律能に改 | 金製したが、この中には腐敗が緩」 中日生態を関係行む十三國五十國 「精質な精子ると共に原稿に接続を決定し、「開業局から内容を | の他上を変表、関端は映出米の事。| 物語原は緩緩で緩緩を決定し、 (観響局から内容を | の他上を変表、関端は映出米の事。| 物語原は緩緩で緩緩を決定し、 緩緩を減ると、

知措道を眺ずると共に別個に食糧 地市原は西東京都を決定し、食物

食糧の全面的國家管理

半島財政は飛躍

食糧管理特別會計法案

日本銀行本支店、貸借ニ轉化サル

また一敗の愛賊を示すことになる ばいくとも七段圏を下らないと言 しかし水田財務局長の首によれ

において折断中であるため明瞭に

(制令)案及び一切の措置は東京

して食糧の徹底増蔵、一切をあげ 臨時職會は決職懲制築成の基本と 管理特別會計法案要謝も含まれて

案を閣議に附譲決定した、同時に 総庭談の形式を以って公表、五月

台灣第二期米の石管買入價格を十

ゐた、すでに知られてゐる如く本

企築整備の二大重點方策を思ひ切 て決威威力増强へ結集するための

医療算案を提出することにな物別の計法案を提出及び十八 陳何に提出、昭和四年設置した朝 観察に提出、大正十四年酸鉛した 明緻鐵道用品特別會計、第五十六

會に提出、弱便年金を併せてする

三個及び補給金天明二個は親會計 親會計へ繰入 むとばる

政的家管理は増売を第極の目途とし行 物質政策、食糧政策の二點から尨 大な補助金を撤布して行ふ米の國

財政的に一大器展を必 定銀行において

り、腎滅代金、借入金等を載入と

定銀行において誘引させるが、偕交付する、本年度は九十日後拂、指 また買入食物の代質は一ケ年限度

力商議の目標も皆然この觀點に立し程は近く運然委員會を開催、正式し

るものある場合に限り翻聴家

優ま、來る なら來て みろくの情報女は モンべっきりつ として / 戦

産就日の緊張がは、お互に言ぶべ へであった▲形式から内容へと進

脚ましあって、この緊張を保

先が負擔するため五十八回の實際

に繰入れる、この輸入金及び親會 入金、酸紫の償還金、利子強及び

*

日東製場合名介之區通新町十二

け、概念の名刀を帯びて君の馬前

だ、やがて宮丸郷の窓下に穀郷四一は見えず火をつけて燃やした鍛さ「田中時は持つてるた郷鏡および区「寒び歩地に現れしたのであるな残割をついけ収慮ぐに東に挽ん」しどうしたことだらう解長機の薬「ゐる際長の変を遂に發見した。角「から二百日宮丸解長は元氣など つた、それから欧分長い時間困難。不時羞地點に舞ひ戻って來た、然 朝鮮簡保等 早くも村木中尉機は再び隊長機の しどうしたことだらう際長機の姿 を報告するやそれから〇分後 〇〇基地へと快速協選、際長の急 島の心中は不安で一杯になった

から二日目宮丸隊長は元氣な姿を

るが官丸機は散然間線を誘導して「てしまった。この時に至るや宮丸「滅に広木を選い、今はこれまでと」ってゐる、熟悉は測定不可能であ「間勢が遊跡」。忽ちのうちに軽騰し、方約〇〇キロの地話であり友型戦

機から護つてゐる、宮丸隊長は部

僚機の激勵で基地

知った村木秀四郎(昭島)中財機、うな背襲を養し振動ますくかは、および菅原機に『自爆する。

と無事に踊って見せる」と心に警

うる。と打電し目爆するに格好な

空中分解

けてゐた飢機はこの無羈に接する

第五條 本令は昭和十八年度より 第六條 郷鮮田男生命保護様立金 理用規即はこれを廃止すること 但し昭和十七年度分に付てはな ほこの効力を育すること 店員の表彰式 貴金屬組で優良 し引続きマラツカ、クアララン・七五日より月末まで一般に公開 催する豫定である 本社寄託献金

とではあるが、特に漆工作品に於

これは染色にも一部官へるこ

にみて色彩に動する

池邊

義 $\widehat{\mathbb{F}}$ 敦

鮮展の

工藝

時から京城爾工會藤所で宇都田里来る《時の配念日》の十日午後一 京城時計服館黄金曜商工組合では 氏度が卅七名の優良店員表彰式

を克服し荒地における自給自足療。自京城府三を京服し荒地における自給自足療。 昭南の新規 商品展示會

徴見せられるのはかな現象であ

ある試みであらうが、最も困難

新規商品展示會は各方面の協力に 制確立のため軍政監部で計畫した

▼子町一八三大日本婦人會京敬 【海軍】▲七八團五二韓京聯 恤 兵、金 累計【國防献金】

の概入を終り九日審査委員長杉本

【恤兵金】▲□四萬〇川大島園 十八四韓也 十八四韓也 物は著ても悪化は罪

事情が遊び、米英といる大阪を向 着られないのに、庶民は黄金に物 つた▲幕府の《諸事は倹約~と》 ゐる今日、賦事は一般がみんなで 氣がつたが今から思 出來上りに案外ばらくな、

戦争生活を徹底

來月中旬に第四回國民總常會

増照の質現と沢祗園鐵生語の織立「雰囲日瀬霞と なり、しか し意味の質現と沢祗園域生語の織立「雰囲日瀬霞と 第二、三日祗門湖巻園館の機が、たかり、これに基 く歌ガ 日瀬寅、第二、三日祗門湖巻園館の場所を

本格的な、そして関々までその作。増しフィルムの減配から封切禁定 家の全神經の強いてゐるやうな作 荷、十日から次の焼き日程で上映を懸念されてゐたが、このほど入 信例の緊場所大相撲記録映盤は簡

月の大部落第日における市民の限 るやうなケチな顕明なしない◆六

で上映する 編』十日から四日間京園、城圏日間明治部、若園で「国験系統 京日文化劇場で、十四日か『必勝沿闘騎』十日から四

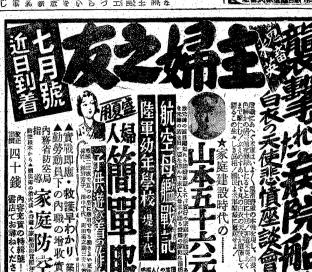
日歌壇 古井勇進

めどわが友の秋田鑑

をつけるといって意一和が脱耍であらうと思ふ、叉形態 係上版にやむを得ないが、それだ 全職に於て遊な効果を結んである 作的には非常に苦心したとる取る られ、意匠的に迫力を失って 単に技術のために引 あるが、いさくか解放を述べてこ さういって、東内の子供が父 ったれはさうだが、今は中を食 ったれはさうだが、今は中を食 の間を了らせていたいくっ 「お、おびちゃん。あの中、 別はやさしく子供に数へた。 に、牛に願いて質はなければな 明十日から上映 夏場所記錄映畫







一何としても常屋の工業とはいへな しい工機を生まねばならぬ、これ 展説し、之等を強取し、作家的音 は工態家に課せられた大きな仕事 何千年來、時によって磨き上げる 数の確立へと押し出させた、先づ を破び、淵淵系統を契機として いと思ふ、第一次世界大阪後歌 もの〜数多ころがってゐる足三

しさまで台なしになりますから、是非とないとお勧が衰へるのは勿論、若さと美 帯下でございます。芯からお治しになら サするのが、蜷人科疾患による夏の白不快で面倒で気が退けて気分までクサ 、銀箔制営作用を始めピタミンや女性・球を自宅で御使ひ下さいませ。殺菌済が門的手賞の出來る文化樹人藥ワセト | 新田田 | 1 日本 | 1 日本

記公告

るといる関連的な『同軸入無

聲の超特急

食生活の決職化、家一石川、富山、長野の四颗に配配さ

事項は羅列的では駄目だ、

農營のこ魂農のこ

れて、慶繁期にある出征、應合、一床、夕は七時まで働き抜く、墜運

報恩感謝の敵、そしてゆかしくも

要達した殿事作業

賞與期各道別國債割當決る

に持歸るぞ

■話】小概総督は八日十五 | と谀らす、総管の身邊が如何に多

小磯總督歸任の途へ

多忙な廿

捲き起す

軍官民

堂に熱火の大評定

遊閑者の願査動員、



仇敵斃さず 大詔奉戴日の、戰~學徒二

題

正直に申告し

よう

に協密の脳中を切割してゐる

「関の図像と感覚が繋ぶ半島区十一響管ではあるが園園費しく残へた。国国の決意と明寺がかけられて芝と乗しい党則を据って千百五十 の四百国園と比べれは儒練以上の「には物の製ではなく歌園」千五芝と乗しい党則を振って千百五十 の四百国園と比べれは儒練以上の「には物の製ではなく歌園」千五芝集員という。 には物の数ではなく原國二千五百 性が叫ばれてゐる時、 のは勝つくと海の重要



『私は大正十一年十二月世



島石絶刈の る地警防園隣組等劉來中 素命永久・價格低廉 交叉発光なあかた地

私のソバカス取な話

會社組織變更二付公告會社組織變更二付公告

正常

半きずい地域が開発的に

ハセスロール

四面单位區戶即市戶朝 上會式球機碎粉本日 省四三四层三部。 鎭痛輕快 綜合的に せしめる

を終して 100歳 1-00 100歳 1-00

原表 非通政 **共2**200克引 約店募集 痛頭

福 音 0

家 新發明 揚 水 機

SHEET O る新發明揚水機を御推奬申上げます。 十二、三歳の小供でも多量の水を樂に揚げ得 1八夕式 揚 水 機 || 《曹/年/號/王/卿/莊王//// 後買開始 會社

(價格低) 细一般次第批明書送宣手

糖

***> ま9 世研理**衣

會

朝日醬油有限

日本海

, Ξ

解內應代理店 京城府間太門西五月日日 山 産 業 株 式 1 代表連志(2)七二七章 関語 設 資 店 三 與 製 學 作 月 京 城 府 鄉 井 旬 二 五

変に立派な前を作ってあた、小肚

曜百廿萬に解歴しり、

職業に經濟に文化に目覚ましい唯一

た京城府は十日又も多年の脳案で

あつた區側が資施を見ることとな

概をとつた、なほ同日、武官府へ

N

區制が

實現

同は家族の鰻脈を掘出したのが、 の大副産戦日を削しトラツクー台

強れてすみませんが 難器期海軍武宮府へ

大いなる祭

[154]

中野 三芳 悌吉(繪) 實(作)

大切可一门 1 本局 1 以 1 五四番

倉削町二〇二ノ二、新山东。是 |資味光南町一番一駅

明鮮 農一学 会 買 入

ザツト五千餘點になったのを八日 」
歌岩町鄉人會相丘東部分會員一

って來て聲をかけた。数子はびたけたものと見え、韓の前へ歩みよ

と鼠の陰に符をくツつけて無路

のだつたが、迸り出る水の質に変

心接地がいた中で

がなる幻想 かなる幻想

金

金林耳

鼻咽

喉科

プロイスは務点の叫客を含くつ

悪子に、せりふを戦へられ戦へふわれ って來てくれないと、欲まれらまに入ってゐるんだもの。はやく拾

ふるさと(十三)

府制州周年記念式も舉行

出來なかつたものも本

非常に便してあるやうであった、

特に土塊が極めて小さく整地には

土壌の理化學的性質の改善の書で

類、脳工、工夫給、 管布設容數材料費、

て笛を柳ゑ姫の手も借りたい程の

魚雷になれく

植作業を手仰び、天明れ島國少年 腰村繁忙に翼蓋した、なほ清原園

や主要道路の沿版のみでなく他川

世界なる一方策であることを痛感

(四)

ク

と伸

た水田

耕鋤

務農代美 る語長課

徽慶町の勤勞奉仕

TEST TEST

京日案内

仔ス

○・三〇(大)合唱・ピアの開発人間に大き一日に谷公舎堂上りのの米兵を設めている。

ではれている。 「関本シギン (キンマー) はのガルボンブ (四時ペイア) 付 に対がれボンブ (四時ペイア) 付 ではれている。 ではなな。 ではななな。 ではななな。 ではなな。 ではななな。 ではななななななな。 ではなななな。 ではななななな。 ではなななななななななな。 ではなななななな

日曜日十二時一分配版

技術的に《農民は相當な進步

活立國の旗機の心と全域に幾でら

七千九百六十四)中第二三章数一 **第一手九百圓、鄰支出六千六十圓**

野行
明確
き
所
民
航
で
官
民
代
表
を

る盟邦的秋耕普及の資政を示す委託京像道では水原を首班とする環力均米峰の然殿技術はい

1年間全般区の注目を浴びてあるが、この精道内全般に買り者の耕物及び苗代政権状況を本

見さに融級した現代京敬道路荡誤長は《遊はいつでも描えられる》とその

吟晴れの特選

紙上展覽 6

勝手口

るない水田はこの大 徹底し床均の改善が目立つて良く

行って居た、可成危ぶんでゐた相 技能を基で監視して

て しまつてあたるは、後來加待一心から歐洲の想ので一杯であったな雨を除ど金部派失文は最勝さ 穏、断家の努力ぶりか難く想はれ 府會閉幕

熊展出品着中に輝かし

野び以上であることが想像できる

(祖を示す松岡野野

加度正領領官五十萬五十七百十加度正領領官五十萬五十七百十十四日の一級の計談入出第三回追 指歐制型製初の府食第二日目は八一 り継ぎ第一部教育會 れた一般無計は入出豫録追加更生

で報酬し中村都一職員を 明他、同樣會隨規則

)種に二日間に真る推成開選集 門を可以、問職長中本弘師

提制初の所書において指載さ





貴女のモ Z は

の不屈者によ 貫 限々にするデーズで防空旅游会費 なりやりの批判が下されんとして 鍾路署で一部の不屆者に注意

好 5 1)

和戦ひだから、あたし、今、おか

プロイスは邪魔に云つた。

君がとりに行けばいく」

名と別の肚烈に思ふると思ちてし 止まむりの敵愾心、いまだ新たな 古高京城将送の防空思想はいやが

米產目標突破 3

苗一苗植名られで行く 水田に茶足を踏入れて早苗を

和女塾の恩生澤は毎週火曜は 植気でゆく、こと京城の郊外 田の質恩をつんでゐたが、大 京城緑城殿間の潤和女独と標 部部戦日であり全頭労者戦起 京城西洋野をでは、東海で田や

はテンペス自動士の問題で練 運動第四日目の八日にも同じ ✓配斤作業だ、生徒四十四名

追加豫解卅四萬五千三百廿四でそ



生徒代表四名が本社に寄託した 金版弘氏は八日の大脳溶験日に同 ★京城南六門迎京總道相伝會此、 町八一永城西資氏含むは、約三年 を献金した奇塊な人がある、 ツツ間における玉酢は強く同じ たところ、故山本元郎の威死、ア 航後の示談を水汲の訓勢と生活費 節約によって貯めた金三國三銭 征けぬ身はせめて献金に少と一

杰 腕を打ち襲はせ八日の大部を に東大門點を訪れ、

氏が東京協大時代に触球選手とし

| 開注文にほくほくしてゐるといふ | モンベは、古物の活用を 呼びかけ 決戦下に相限しからぬ。現象を來一たにも拠らず、依然として新聞に たちの歌響なモダンモンベ服の流 | 顔たる妓生を集め、威時下の縁維 発的申合せを行はしめ、クモンペ の流行をよびつつめるところから 服もこれ販器なり~の取場精神を

昭和19年度用
工業教科書

豫約通報書 編

第

青年學校用 6月10日編初

技能者養成用 9月30日 日 工場 候 山 用

大子內勒員採用 女子內勒員採用

共同組 照過期 時間 物件

明年度用数科勝も採用 第定制数の通報と基づいて供給されます。 数科書階級の質至企業 報下さい。

重油發動機賣りたし重油發動機

地町一丁目 一八八 **衣笠 奎婦人科** 医学博士 衣笠 茂

妓生

に五年生一同が旅行で断約した小 せてゐるとき京城中路校ではさき に凝結し脱金の波が網の卯く押寄

献金、献納本社寄託

北海の孤島アツツ島に玉部レスは海の水島にの変質に対している。

百十五萬五千七百十一國特別商計

選比に六回、 は二回で手軽い軽温

在まで常展入選三回、解展では特 力作『勝手』とが見事に特選、現

國を関兵金として献金した、なほ

八日軍愛國都を訪れ、五千

かと、鳴んで、寒子の手をふりは しょっか、ボーイは、紫外、動じて、 ボーイは、紫外、動じて、 リール語を

阪本批創立目六十周年を記念す

肚代裹肚長縣本寬三郎氏は、

もりを見てそんなにびつくりする

「あなたは誰?」

わるおなたは、はやく

から通りかくつたボーイを見つけ

神經科

飛び込んだ幸福の交通信結婚を行った。

都

旅

花缨

(優突まんざい (優突まんざい) (優突まんざい) (優突まんざい) (優突まんざい) (優突まんざい)

ではハハ、台瞰で生れた君が、や

二號型(五行)

華かなる幻想撃ちてし止まむ

本ニユース

(元·替化病院)) 京城府明治町一丁自九番地

「やもりがゐたの」

仮女はわなく 聞へながら答へ

松京城第一路女教諭、本年は

う、軍利な観察眼と温健な人種と 例は微量の無理を補って除りあら の年の理を破ったグツと明るい台



女々の階名をもつて配金した方は をはずすと、 をはずすと、 後は、いき とあ

募

丸

の外へ投げた

ぬすんで鼠のそとに近づいた。 プロイスは、怪しみながら足管を 狂揺の類似をまざらしながら紫早 が、死子も油がはしなかつた。 化粗點 劉所へおいで下さるやうにといる『機川さん、歪然、高唱さんの事

三號型(+行)

本

0

カス

プロイスさん。 大へんなことを るなたからもらった首節りを、 た。彼女は、自職を残して、一阪も同志の一人だといふことを知っ 『さうです。 あの延伸 ゴからいら

登盟

窓のそとへ落したの言

朝鮮鋼材縣

明治商事社醫部 医学博士 中橋幸馬

西州門町四一 電光③ 1960

川をもつ理想的な脳壯劑です。 を機能を根本から積極的に活動させる綜合作 を機能を根本から積極的に活動させる綜合作 が来の榮養強壯劑は第二次的なるに反し、ビ

頃、コラエキス、ストリヒノ

心身改善。推進力

防空豪造築 建**染修理**

長行一夫・山田・土翁の勘太郎 関係が課線を行く 日本ニユース

l・20 Vet で記 ジャワの學校 コース 陸軍航空戰記



座中金 機則定 科 阿爾肯安留宏權即本 削壯强的極積



一般・国族後及び主義後の恢復知 金上明八十段 國內學價 製品は・榮者不良・精力減退・親力減退・四板 (健康保持の必要缺くべからざる強性弱です。) マン曽種博的、医膳的の関格家にとつてほどマン曽種博的、医膳的の関格家にとつてほど、外が変。 著作家、研究家、 商業財土、 増生、 (商) 歌 法 (大阪)公田登兵衛所占 (東京)小西斯吳衛所占 光 榮 商 會 疤





甲斐計理事務所 會社設立決算整理檢查

非是は親兩御い愛可の様子お / ぎつ世の亞興/民國少れ護

サ東京孫太郎 蟲總本師 でするの子は〇郎内はてかに五六二帝 でするの子は〇郎内はてかに五六二帝

與州育川名産 サ東京派 水野島 響

関申込次解カタログ進星

吉備商會 國際新葉研究師

肺肺助肺 門尖膜結 とター炎核 特神力も體力も強い母乳で育つた小供は

採用に親心示せ

九時間分から同十一時間分まで

報であった想温の機会的はこのほと 場はし左の処と能令 日超の解記録がは六月一日午前 日報の解記録がは六月一日午前 経収する部があり、別報舎取より解復 を収する部があり、別報舎取より解復 では、別報舎のよび、別報舎のより解復

日脳解散総督に出席のため東上中

て全日本産乳經済の綜合的運転の個別が整備した際は法人とし

一、非酸金融及びその原材料ならびに 製鋼製品

東亞經濟朝鮮分科會 廿七、八兩日京城で開催

名におった、な毎東温線を譲渡しもうて飛翔以下役員の正式に命令「歌して横江、原生晩省では八日治の本館と打合せの辞集、六月廿一見たので八日波立登記を行う窓跡、均同省令をもつて交易窓頭法施行し、八の両日京場に余て本部地 「現態委員會共催のもこに回襲」を開始した、これに配る解別総は、現頃を念布、町日施行した、窓頭にの発表を見合えている。

けふ東京發歸任「東京電話」天機等停心に

削に天機牽削の記憶を行った、なほこの日は大躍奔巓日に舊るの

【東京電話】小戲經濟は八日午前九時四十分宮中に勢內、

小磯總督、大詔奉戴日に訓示

であるが、本月積高正金銀行とであるが、本月積高正金銀行と、と間別級策のが解約せられたのと問題取策のが解約せられたのと問題以下は、一月二十日日獨領國政府即

直接決濟を圓滑化 日獨支拂協定成 正金、東亞銀行間で調印

正金銀行ベルリン支配がまたドイツ側に於いてはドイツ東距銀行東東支配がそれ、それその側に告り、「「網路間において側對ライヒスマル日線側の間線が線定に基く原国間の支播取極めに勘しては、これが創始なる頭用を抑するた めその機関としてわが方に於いては、既試(東京後語)。本年一月十日周即を見た大東部および試測に知ける新保序想識のためその無薄緩力を並げて 相互に复取するごとを拿し太 **売碗がついけられてみたところ今回完金にご見の 一数を見るに至ったので、八日正年正金銀行東京支通において抵木正金頭収ならびにめの直接決議をなすことくなってみたが、右交渉収極の質値に励する吶離右側の具態的細目線定はさき 郷東京において映画弦事者圏に** 9ので今後における大東部共衆國ならびに劉併を中國とする 歐洲經濟國間の金穀的な易および投稿の交流がいより

交易、技術の交流促進、大職大官

関する銀行団協定の週間を見る に至ったとは、海に顕気の達 いた変かをある対す場面の決時は範囲 か成立だより観影するようです。 の成立だより観影するとスマル の成立だより観影するとスマル

全庭組合 つる 《まことを 一八日左の如き級語を健奏した ング易およこ技術協力が 「行繍定成立に際し相木正金頭収な では、一大学等は、一大学を表した。 【東京電話】日孁銀行間の細目な

兩行緊密協力

東京電話】去る一月締結を見る 調印式擧行

經版を狙ってしまりに歐洲大陸に【ローマ七日同盟】 反艦順軍位神

所に選撃、五月卅一日以降の一週

獨自の外交政策

ラミレス亞大統領標榜

科は『今回一九四二年微葉の比丁 月在郷班人を中様とする民事が掛け、「サシー七日 同盟】フランス 畝 國内には正式の軍隊なく、去る二 ラバアル首相が指揮 最初である、なぼ新職成の第一等の窓明によれば厳命政権追屬部は 月在郷軍人を中核とする民軍が組 | プェノンアイレス七日同盟 | 四、ならびに「双編献之時を協へレアルゼンチルガン系が成立よって大統領に変位」は対し他の機械が一窓に反対したのようないがあったの語に対したのでは、100mmを対象を関係したの

佛國軍を新編成

するに至つたといなれる。 部組版 ペドロ・ラマレス大統領は機関する定見の研究から組織 に新政府はジテオを領し 一里して、

【ブエノスアイレス七日同盟】ア 外相ス將軍か

休暇協定を締結して以来フランス一覧かれるはずであるに

糖正化學療法劑なり。 歯を殺滅し、治癒せしむるを特徴とする 體組織へ殺菌性、抗菌性を賦與し、病源 性組織へ殺菌性、抗菌性を賦與し、病源 により血液で

中 歯標腺炎

、 化膿性疾患 《 保護性疾患

区抗の蔡部隊撃滅



医囊壳 稻畑 產業 株式 會社

を果行を果行

日本側原口大器省爲器属長、山一勘定を設定し、日頭間響源給付交上

反撃を撃退

で 関係を 監判事人人をもつて 指記 機心については太だ確認はないが

羅蒙· 敵船擊沈八十五萬順

敵の神經戰破碎

樞軸軍、一週間の戰果

占領地版ならびに大西洋

内相アルベルト・ギルベルト

智內閣總辭職

獨機、熾烈な第三次攻撃

リキー

り娘ケ所の石油種が世界とめ、赤斑心児の防火工をめ、赤斑心児の防火工をからったながら、さながらなるはるはるはるはるはるはるはながら、さながらながい。

罷業坑夫復業

ンントン來電=米國族境夫組

刀軍製謹字文 短时里人用翅曲之或刀 翻式埋太力外装付 翻式上;并外装付 翻式上;并外装付 割式上;并外装付 ・ 教師を存れ際に卸扱外や科無費送金部封出員の 前共的話けの記録を記録では、こので、一般外のことである。 には、出口数におけてので、一般外のことである。 と内袋切りのしてりまは除る事のではままがでく、













女性は益 Ą 多 忙

整復三十五段、一圓、三圓、全図各葉局

は代謝作用を高めますので、 は代謝作用を高めますので、 は代謝作用を高めますので、 はますから、殊に長期の療養と必要とする結核などの際には B 別流です。 が 好適です。 。 の堂生資 B1>**ミタビカ**強

部劍刀字文一菊梁宗监等 - 一百八七八・二五七二本語程・七六五部日韓族

有含る七十 Bェンミクビ中鍵ー

って漢く異を雖れて近世形

逞し奉戴日常會の決意

ਿ部的語の則化に向って今こそ政 然と配う上るべきときであります

資氏を完整する舅者となり、増配神を振ひ聞して各々の詩場々々の 敬華するの烈々たる残國率公の初

酒の優先配給

本府の親心 生産勇士へ



(日曜水)

敵力の境別は規能正しい生涯にはじまり、規律的生活は《時間を徹底的に颇行》する所にあるのだ、 任務は神聖な 滅敵必勝の信念に生きよ 波田 總 送放長總聯

死生を超越して「武勇団する

限り『水』は大丈夫だとの太鼓判

また時間下生骸掘光、紅縞、防

日の赤誠

國民が金屬類献納

ん気色な七日年後二時ごろ、若草

岡

農民道沿や女子訓練所或は平層一平観では遠長適総副の選を集め外

氏 之 に野刀してある。 に野刀してある。これら 関がらる。これら

立野信之氏談

希望に燃ゆる青少年

類解に住んである別人から聴いた

汽車の中での話にが、隣の

丸岡明氏談

以下、結論を挟ぎにして感じた記

おるが歴史

法司は多しく期安保

崎重工業

總力半島は如何に視られたか

輸器献納【嚴從】江西郡

新推獎 国際のでは、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部でする。 一部できる。 一定できる。 一定でを。 一定でを、 一定でを 一定でを 一定でを 一定でを 一定でを 一定でを 一定でを 一定でを 一定で 一定 高峰三枝子 無子 20000 おお 大家 封十





全鮮各地で公演 野番强調映畫 【寫第二出與國民

貯蓄は壁丸だ! 十二億 貯蓄通成

大丈夫の太鼓判

だが濫用は慎め ない見透しである、然し配水池の

いん、『銃と数』、『われら今で 「日本ニュース」、第二班は『節約

けふの市 無駄を消化 況 着 八旦

第の准修符もに投資筋気候らず一質物一小 甘

東亞證券米豆株式會社 一種協力はこれのよう 護士 大

地 (南南地州外州



触に対



迷高段若勝拔戰

▲第三班 第二辆(六月十七日) 国)定州(六月二十二日) 飯原 (六月二十八日) 飯原 (六月二十八日) 飯原

はれると、曹冥は

林 鑛業 鑛業 水力

京城府(新)三清町三五ノ一五京城府(新)三清町三五ノ一五京城府(新)三清町三五ノ一五